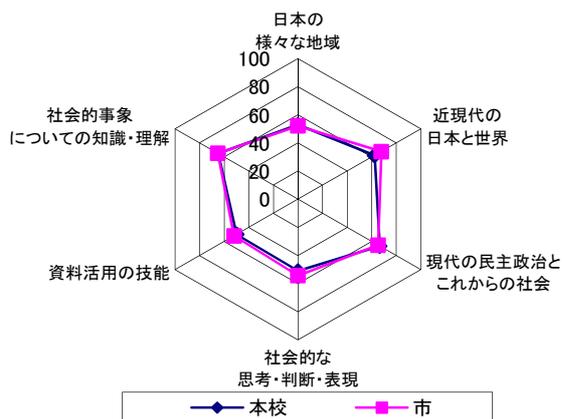


宇都宮市立瑞穂野中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	日本の様々な地域	52.9	52.1
	近現代の日本と世界	62.2	67.8
	現代の民主政治とこれからの社会	66.5	65.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	51.0	54.3
	資料活用の技能	49.9	52.1
	社会的事象についての知識・理解	65.0	65.2



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	日本の様々な地域	概ね市の平均とほぼ同じである。基礎の能力は概ね良好であるが、貿易に関する問題について考える力や複数の資料から読み取る能力が市の平均を下回っている。応用力や活用の力に課題があると考えられる。	資料を通して地域の特性、共通性をとらえていくことを重視しながら、空間的な理解を深めていくことが大切であると考え。資料から必要な情報を読み取り、考え、言語活動を通して表現する活動を重視したい。
歴史	近現代の日本と世界	正答率が市よりも5ポイント低い。自由民権運動や戦後の歴史など、様々なできごとや世界との関連が複雑な動きについての理解が市の平均を下回っており、課題があると考えられる。	他国との関係や様々な動きが絡み合っているできごとは関係性が複雑で、理解が難しいところでもあるので、図に表したり、資料を活用しながら丁寧に説明していく必要があると考え。また、プリントを活用するなどの教材開発を工夫しながら授業を展開するようにしたい。
公民	現代の民主政治とこれからの社会	市の平均を1ポイント上回っている。政治の動きなど社会事象に関する理解も概ね市の平均と同等であり、概ね良好であると考えられる。議院内閣制や選挙のしくみの理解が低く、しくみを理解することに課題がある。	新聞資料などを活用しながら、実際の政治で起きていることを通して理解を深めていくとよいと考え。実際の政治のできごとを取り上げながら、その根本のしくみや原理・原則を理解させるように工夫を積み重ねていきたい。